

地域おこし協力隊通信 (No. 75) 就任あいさつ

初めまして。

4月から中種子町地域おこし協力隊として活動させていただくことになりました。大山広太郎と申します。

中種子町役場の農林水産課に所属し、主に六次産業化の推進に取り組んで参ります。

今後町民の皆様にご挨拶をさせていただきます。機会もあるかと思いますが、まずはこの場をお借りして簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は埼玉県出身の26歳で大学を卒業するまでの22年間を地元で過ごしました。物心がついた頃からいわゆる海なし県で生活していたため、単純に南の地域の綺麗な海に対して憧れが強く、今回種子島へ移住を検討する一つのきっかけとなりました。大学卒業後は人の人生に深く関わるのできる仕事をしたいと考え、都内の不動産会社にて営業の仕事に従事しておりました。日々仕事に取り組み生活も大変充実しておりましたが、長引くコロナ禍をきっかけに都心部での生活に違和感を持ち、移住を検討いたしました。その後情報

収集を行い、実際にいくつかの候補地を訪ねる中で最も印象に残った場所がここ中種子町でした。前

任の地域おこし協力隊として活動されていた湯目夫妻にもお世話になり、地元住民の方と関わらせていただく中で町民の皆様の優しさに触れ、ここでなら楽しく生活できると考え移住を決断いたしました。

現在、中種子町で暮らし始めて1ヶ月程度ではありますが、刺激的な毎日の連続で時間があっという間に過ぎてしまうような状況です。業務以外でも早く島暮らしに慣れ、一人の中種子町民としても皆様に受け入れていただけるように努めます。もちろん、業務においても島の外から来た人間として先入観のない立場を活かして皆様のお役に立てるよう活動して参ります。未経験の分野ではありますが、日々知識と経験を積み町の活性化に繋がる活動をしたいと考えております。

町で見かけた際には是非お声かけください。これから宜しくお願

大山 広太郎

初めまして。

4月から中種子町役場にて、地域おこし協力隊としてお世話になっている大山愛と申します。

企画課に所属し、イベントなどの運営・情報発信活動などを中心に、様々な活動に携わる予定です。町民の皆様と触れ合う機会も多々あるかと存じますので、何卒よろしくお願いたします。

さて、この場をお借りして、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私の出身は山形県の山辺町という小さな町です。雪深い山の中、中種子とは真逆の環境で育ちました。

大学進学を機に東京へ上京し、卒業後は社会人として約3年間過ごしました。

約1年前、「海が見える綺麗な町に住みたいなあ」とボソッと呟いたことをきっかけに、私たち夫婦は移住を決意します。

西日本を中心に様々な土地を巡りましたが、たどり着いたのは中種子町でした。

満点の星空、初めて見る島バナナの木やサトウキビ畑、島民の皆

様の優しさ、初めて来たその日に

ここだと感じ、帰りの飛行機で中種子町で決まりだね！と夫と話しながら帰宅したのでした。その際、前任の協力隊の湯目夫妻には大変お世話になりました。ありがとうございます。

これからは協力隊での活動に尽力したいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします！

大山 愛



中種子町地域おこし協力隊
農林水産課勤務 大山広太郎 (左)
企画課勤務 大山愛 (右)